



麻里布小 図書館だより



2019年9月
麻里布小学校
図書館

夏休みに、保護者の方には暑い中図書作業をお手伝いいただきありがとうございました。子どもたちと2学期を気持ちよくスタートできました。

これからは気候も爽やかで、秋の夜長は読書にいい時間です。テレビやゲームからちょっと離れて、ご家族で本に親しむ時間を過ごすのも、いい思い出ですね。



新しい本が入りました！



9月13日、新しい本をいつも忙しい6年生に先に貸し出し！お気に入りの本が借りられたかな？

1学期の読書週間にリクエストした本も入りました！

9月30日(日)

うち読のすすめ

- ①麻里布っ子みんなでやる
- ②宿題なしで読書
- ③ノーテレビ、ノーゲーム
- ④おうちの人も協力

水色のカード提出は10月1日(月)

★夏休みの親子読書より★ 子どもたちの感想



1年 『つまんないつまんない』

つまらないことをしんけんにかんがえているのがおもしろかったです。わらいました。

2年 『はじめてのキャンプ』

ぼくはキャンプをしたことがないので、やってみたいなおもいました。ぼくだったら、よる、ひとりでトイレに行くのはこわいなと思いました。



3年 『かあちゃん取扱説明書』

てつやくんの作文に書いてあることはうちのお母さんとそっくりだと思いました。一番そっくりなのは「早く」と言うけれど出かけるとき一番したくがおそいのはお母さんというところです。お母さんのことをけんきゅうして取扱説明書を作るのが、とてもおもしろかったです。ぼくも作ろうかな？

4年 『かみさまにあいたい』

なくなることが分かっている人とはお別れができるけど、そのお別れはあっさり、伝えたいことはいっぱいあったはずなのに…。主人公の雄一は強くなりたくてじゅうどうに通ってました。それを見に行ったおぼあちゃんをデイサービスに送ってこうかいしているから、かみさまにあっておぼあちゃんにもう一度あわせてもらうためにど力する話です。

5年 『おこりじぞう』

この本は戦争シリーズ、じっさいにあったかもしれない話で、わらい地藏だったのが、原爆が落ちて焼け野原になり、怒った顔になりました。お地藏さんから見ても戦争はひどい光景だったと思います。

6年 『マンザナの風のにせて』

戦争の時、アメリカにいた日本人も苦しい思いをしたんだなと思いました。最初は題名の意味は分からなかったけど、読んでいくうちにだんだん意味が分かりました。とても感動する話でした。

